

飯坂町周辺地域づくり協議会ニュース

第16号 2011年3月

飯坂地区と湯野地区の3,570戸の皆様へ

「住民とお客様のための地域づくり」を47名の
協議会員と語り合っていると、幸いです。

会長 遠藤孝秀 事務局：飯坂町十綱町3
飯坂温泉観光協会内 024-542-4241

報告1 親水公園の名前が決まりました。(担当：第2委員会)

はこゆこうえん 波来湯公園



86通のご応募をありがとうございました。第2委員会で選考の結果、上記の通りになりました。
御礼として、全応募者の中から、抽選で1名様に、飯坂の林檎を贈呈いたしました。

波来湯公園は、平成23年3月に完成の予定です。

報告2 波来湯が平成23年1月1日に新築オープン (担当：第2委員会)。



報告3 飯坂温泉駅が平成22年12月に修景 (担当：第3委員会)。



なお、駅前広場は、平成23年3月に完成の予定です。

(第1委員会) ……担当事項：道路整備、芭蕉の碑ポケットパーク、など。

委員長……松崎益一（庶務・湯沢町内会及び飯坂町商工会）

副委員長……佐藤裕美（庶務・飯坂町商工会）

委員……神野忠（花岡町内会）、和泉田久江、大沼征子（滝ノ町町内会）、川又勝彦、西山友幸（湯町町内会）、佐藤嘉久男（湯沢町内会）、菅野勉、長谷川迪夫（導専町内会）、黒澤仁（湯ノ上町内会）、紺野幸子（庶務・飯坂温泉旅館協同組合）、小水秀也（飯坂温泉旅館協同組合）

■7月～2011年1月の活動……9月28日、10月25日（福島市道美装化説明会：旧堀切邸）、10月26日（福島市道美装化説明会：湯野市民センター）、11月15日。

(第3委員会) ……担当事項：もてなし空間、まちづくり活動の実践、水質改善、交通対策、など。

委員長……山田栄治（庶務・飯坂町商工会）

副委員長……大山善治郎（庶務・十綱西町内会）、高橋美奈子（庶務・飯坂温泉旅館協同組合）

委員……葛岡藤馬、丹野信吾（道城町城光会）、丸野内隆一郎（十綱西町内会）、舟山芳朗、島貫栄治（鮎川町内会）、山田邦男、井口俊三（立町親和会）、阿部孝義、寺島利男（橋本町内会）、長谷部正、佐藤豊一（湯野中央町内会）、阿部寛（飯坂温泉旅館協同組合）

(修景整備推進委員会) ……担当事項：修景整備。

委員長……遠藤孝秀、委員……安斉忠作、川又知子、舟山芳朗、斎藤一哉、松崎益一、黒澤仁、大山善治郎、和泉田久江、川又勝彦、葛岡藤馬、斎藤伸洋、安斎市兵衛、佐藤継男、阿部孝義、長谷部正（正副会長5名と該当する11町内会の11名）

■7月～2011年1月の活動……7月14日、8月4日、9月6日、12月9日、1月26日。



(全体)

■7月～2011年1月の活動……7月2日（総会）、11月30日（「八幡緑地」に会長がオブザーバー参加）、12月20日（飯坂温泉駅修景セレモニー）、1月1日（波来湯オープンセレモニー）1月22日（知事とのさわやかトーク）。

協議会への、行政からのオブザーバー

福島県：県北地方振興局地域づくり・商工労政課、県北建設事務所企画調査課

福島市：都市政策部都市計画課、同市街地整備課、同交通政策課、同公園緑地課、商工観光部観光課、建設部河川課、飯坂支所

これまでの経緯やマップ、ニュースなどは、<http://www.iizaka.com/> をご覧下さい。

特集２…… 西根堰遊歩道整備と工事説明会（担当：第２委員会）

摺上川と西根上堰の間、新十綱橋の下から伊藤園葉やまでの４０９ｍが、「西根堰遊歩道」として、ほぼ整備されまています。

工事に先立って、９月１３日に、数十名の住民・地権者に参加してもらい、現地を歩きました。

- １、西根堰側、及び摺上川岸で必要と思われる箇所には、防護柵が設置されます。
- ２、２カ所にベンチが置かれ、案内板・誘導板も掲げられます。
- ３、住民の意向を交えながら、伐採すべき樹木等を確認しました。



新十綱橋から、西根堰遊歩道を見下ろしています。ベンチも見えます。旅館新松葉のそばから遊歩道に入ると、古の「狐湯」跡地があります。遊歩道を進むと、水路のために岩をくりぬいた箇所があります。



西根堰は約４００年前に難工事の末に完成され、今でも桑折町などの「西根郷」に農業用水を送り続けています。摺上川も間近に感じられる遊歩道は、子供たちの、地域の歴史を学習する場にもなってもらいたいと思います。

なお、案内板設置も含め、すべての工事は平成２３年３月に終わる予定です。



（第２委員会）……担当事項：河川整備、拠点施設、公衆浴場、など。

委員長……藤原純（庶務・飯坂温泉観光協会）

副委員長……黒澤仁（庶務・湯ノ上町内会）、二階堂信子（庶務・飯坂方部女性団体連絡協議会）

委員……村上圭子（湯ノ上町内会）、佐藤継男、中村健（新十綱町内会）、斉藤光朗、斉藤伸洋（若錦町内会）、安斎市兵工、清野雅美（十綱東町内会）、岸波勝正（舘下町内会）、佐々木繁、桜井利男（愛宕西町内会）、遠藤よね子（庶務・飯坂方部女性団体連絡協議会）、大山弘明（飯坂温泉観光協会）

波来薬師アドバイザー……深沢耕一様（波来薬師関係者代表）

愛宕山公園アドバイザー……愛宕山公園愛護会 会長 佐藤恒晴様、暮坪第一町内会 会長 渡辺進様、飯坂盆栽クラブ 及び 飯坂さつき愛好会 渡部四郎様、飯坂町史跡保存会 菅野榮二様、愛宕神社の氏子総代会 斉藤登様 斎藤利吉様 菊田達衛様（順不同）

■ ７月～２０１１年１月の活動……９月２日（西根堰現地研修）、１０月１５日（波来湯公園現地説明会）、１０月１９日、１１月１２日（親水公園名抽選会）。

特集 1 「旧称・芭蕉の碑ポケットパーク」改め、「旧滝ノ湯小公園」(第1委員会)

協議会ニュース第4号で既報しました芭蕉の碑ポケットパーク整備の前の、下水管設置工事の下調査で、「昭和初期の滝ノ湯」の跡が見つかりました。



江戸時代、飯坂には鯖湖湯、当座湯、波来湯、滝ノ湯がありました。今回出土した滝ノ湯の建物は明治・大正の物だったでしょうが、約80年前の昭和8年に閉湯し、同13年に取り壊された共同浴場です。25cm地下に埋められてありました。

石段があり、細長いたたきがあり、浴槽があったと見てとれます。浴槽は1つですので、男女を板壁で仕切っていたか

もしれませんし、混浴だったという伝聞もあります。

湯野地区から飯坂地区側を見ている大正期の写真です。中央の小さい建物が滝ノ湯で、左(下流側)にますや旅館、右(上流側)かどや旅館(現在ホテル聚楽の場所)が写っています。



長らく、一六八九年に芭蕉が入浴したのは滝ノ湯であろうと言われていました。その跡地に、一九六八年、「芭蕉の碑」が建造されました。

しかしながら、「曾良の旅日記」の検証を含めた「おくのほそ道」の研究が進み、飯坂町史跡保存会では、今日、芭蕉と曾良が入ったのは、滝ノ湯ではなく、鯖湖湯あるいは当座湯であるとの見解が有力になっております。



協議の結果、「滝ノ湯」の痕跡は見えるようにし、さらに、芭蕉の碑を少し移設して東側を開け、摺上川を眺められるようにすることとなりました。



旧滝ノ湯への、現在の道(左写真と中央写真)は明治にできました。「ちゃんこちゃんこ」と呼ばれる石段の途中から左へ折れて降りている部分が、江戸時代からのものです。かつて滝ノ湯へ行くには、現在の春日屋旅館のあたりから崖道が上流へ降りていて、それが、右写真の下部に続いていました。石段に敷かれてある緑がかった石は、そこにあったものを再利用しています。

芭蕉と曾良、4つの温泉、「ちゃんこちゃんこ」は、私たちを古の飯坂へ誘います。